



図書館だより

5月

船穂中学校図書館 2025年5月

さわやかな新緑の季節となりました。

1年生のみなさんは、めまぐるしい4月が過ぎて中学校生活に慣れてきた頃でしょうか。

ちょっとホッとしたい時、のんびりしたい時など図書館でリフレッシュしてみてもいいでしょう。

今月の展示

- ★本屋大賞受賞作品
- ★沖縄修学旅行関連本
- ★読書感想文課題図書

『ガマ 遺品たちが物語る沖縄戦』
豊田正義 著

遺骨のそばにあった、開けられた缶詰と使われていない手榴弾、そして目覚まし時計。遺品から最期まで人間らしくあろうとした少年兵の姿が浮かび上がる。

絵本 ひめゆり

ひめゆり平和祈念資料館 文

『さとうきび畑の唄』 遊川和彦 著

昭和16年沖縄。美しい海と空に囲まれて平山家の父・母・五人の兄弟は楽しく暮らしていた。しかし、太平洋戦争が始まり一家に暗く重い影がしのびよる。

『少年たちの戦場』
那須正幹 作



沖縄戦終結から80年

今から80年前、沖縄はアジア太平洋戦争の戦場になり、日本で唯一、一般住民を巻き込んだ地上戦が繰り広げられ、男子十五歳から六十歳、女子十七歳から四十五歳の住民が兵役に駆り出されました。3年生のみなさん、しっかり平和の大切さを学び、有意義な修学旅行を!!

全国書店員が選んだいちばん!売りたい本2025年本屋大賞」が4月に発表されました。船穂中学校図書館にも10作品中8作品が入っています。この機会にじっくりと読んでみませんか?

大賞	カフネ	阿部暁子	講談社
2位	アルプス席の母	早見和真	小学館
3位	小説	野崎まど	講談社
4位	禁忌の子	山口未桜	東京創元社
5位	人魚が逃げた	青山美智子	PHP研究所
6位	spring	恩田陸	筑摩書房
7位	恋とか愛とかやさしさなら	一穂ミチ	小学館
8位	生殖記	朝井リョウ	小学館
9位	死んだ山田と教室	金子玲介	講談社
10位	成瀬は信じた道をいく	宮島未奈	新潮社

第71回青少年読書感想文全国コンクール課題図書決定



『わたしは食べるのが下手』
天川 栄人 作 <小峰書店>

葵は小食で食べるのが遅く、給食の時間はいつもつらい。学校では、「残食ゼロ」をめざす月が始まり、葵は心身ともに限界となる。保健室で話すようになった咲子や、ハラル食のラマワティも、「食」の問題を抱えていることを知る。誰もが食べられる給食って一体どんなだろう。

『スラムに水は流れない』
ヴァルシャ・バジャージ 著 村上 利佳 訳 <あすなろ書房>

インドのムンバイに住むミンニ十二歳の一日は、夜明けの水くみから始まる。共同の水道からは限られた時間しか水が出ず、水を買うお金の余裕もない。病に倒れるまでは母が水くみなど家事一切を担っていたが、療養中は家事と富裕層の使用人の仕事を引き継いだミンニ。水をめぐるトラブルに巻き込まれ、兄も離れて暮らすことに。

社会の実態に悲観もせず、ミンニは父や親友、周囲の人たちの善意に助けられ、夢を叶える努力を続けていく。



『鳥居きみ子：家族とフィールドワークを進めた人類学者』
竹内 紘子 著 <くもん出版>

鳥居龍蔵は明治から昭和にかけ国内外でフィールドワークを行い、その研究は外国でも高く評価された人類学者。龍蔵と結婚したきみ子は、時代にたくましく向かい合った女性研究者の草分けである。夫と幼子と共に渡ったモンゴルや中国で、持ち前の活力と交流力により教師として、調査研究のパートナーとして成果をあげる。

☆こちらの本はすべて船穂中学校図書館にあります。